

# 聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

## 第5章 ソロモンとイスラエル後期のリーダーたちの祈り⑩



### ネヘミヤ

#### 神に立ち返る道「私を覚えていてください」

ネヘミヤ記にはまた、通常は見られない祈りが一つ記録されています。この祈りが普通でない理由は二つあります。①聖書に記録された祈りの中でも最も長いものであること、そして②ヨシュア、カデミエル、パニ、ハシヤブネヤ、シェレベヤ、ホディヤ、シェバナヤ、ペタヘヤという8人のレビ人によって語られていることのことです。

これらのレビ人が声を揃えて一緒に祈るといふのはあり得ないことです。ですから、はっきりと書かれてはいませんが、8人は全体の祈りの中の各々の部分を祈ったのだと考えるほうが妥当でしょう。信仰のリーダーたち8人がそれぞれに声を上げ、それが神に対する単一の叫びへと織り合わされていく光景は、人々の心を沸き立たせるようなものであったに違いありません。ここでは、その集団の祈りの中でも一部しか掲載することはできませんが、ネヘミヤ記9章5-38節の全体を、この祈りの際立った特徴を意識しながら読むと、人前での祈りの可能性というものについて新しい洞察が得られることでしょう。

- ・ 「立ち上がって、とこしえからとこしえまでいますあなたがたの神、主をほめたたえよ。」
- ・ 「すべての祝福と賛美を越えるあなたの栄光の御名はほむべきかな。ただ、あなただけが主です。あなたは天と、天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造り、そのすべてを生かしておられます。そして、天の軍勢はあなたを伏し拝んでおります。」
- ・ 「あなたこそ神である主です。あなたはアブラムを選んであなたは、彼の心が御前に真実であるのを見て、…契約を彼と結び、あなたの約束を果たされました。あなたは正しい方だからです。」
- ・ 「あなたはエジプトで私たちの先祖が受けた悩みを見、…あなたは、パロ…に対して、しるしと不思議を行われました。…あなたが彼らの前で海を分けたので、…昼間は雲の柱によって彼らを導き、夜は火の柱によって彼らにその行くべき道を照らされました。」
- ・ 「あなたはシナイ山の上を下り、天から彼らと語り、正しい定めと、まことの律法、良きおきてと命令を彼らにお与えになりました。…彼らが飢えたときには、天からパンを彼らに与え、彼らが渴いたときには、岩から水を出し、こうして、彼らに与えると誓われたその地を所有するために進んで行くよう彼らに命じられました。」
- ・ 「しかし、彼ら、すなわち私たちの先祖は、かつてにふるまい、うなじをこわくし、あなたの命令に聞き従いませんでした。…それにもかかわらず、あなたは赦しの神であり、情け深く、あわれみ深く、怒るのにおそく、恵み豊かであられるので、彼らをお捨てになりませんでした。」

- ・ 「あなたは、彼らに悟らせようと、あなたのいつくしみ深い霊を賜り、彼らの口からあなたのマナを絶やさず、彼らが渴いたときには、彼らに水を与えられました。四十年の間、あなたは彼らを荒野で養われたので、彼らは何も不足することなく、彼らの着物もすり切れず、足もはれませんでした。」
- ・ 「しかし、彼らは反抗的で、あなたに反逆し、あなたの律法をうしろに投げ捨て、あなたに立ち返らせようとして彼らを戒めたあなたの預言者たちを殺し、ひどい侮辱を加えました。そこで、あなたは彼らを敵の手に渡され、敵が彼らを苦しめました。彼らとその苦難の時にあなたに叫び求めると、あなたは天からこれを聞き入れ、あなたの大いなるあわれみによって、彼らに救う者たちを与え、彼らを敵の手から救ってくださいました。」
- ・ 「しかし、ひと息つくと、彼らはまた、あなたの前に悪事を行いました。…しかし、彼らが立ち返って、あなたに叫び求めると、あなたは天からこれを聞き入れ、あなたをあわれみによって、たびたび彼らを救い出されました。」
- ・ 「あなたは彼らを戒めて、彼らをあなたの律法に立ち返らせようと言いましたが、彼らはかつてなふるまいをして、あなたの命令に聞き従わず、もし人がこれを行うなら、これによって生きる、というあなたの定めにもむいて罪を犯し、…聞き入れようとはしませんでした。しかし、あなたは大いなるあわれみをかけて、彼らを滅ぼし尽くさず、彼らを捨てられませんでした。あなたは、情け深く、あわれみ深い神でありますから。」
- ・ 「私たちの神、契約と恵みを守られる、大いなる、力強い、恐るべき神よ。アッシリヤの王たちの時代から今日まで、私たちと私たちの王たち、私たちのつかさ、祭司、預言者たち、また、私たちの先祖と、あなたの民全部に降りかかったすべての困難を、どうか今、小さい事とみなさないでください。私たちに降りかかって来たすべての事において、あなたは正しかったのです。あなたは誠実をもって行われたのに、私たちは悪を行ったのです。」
- ・ 「ご覧ください。私たちは今、奴隷です。あなたが私たちの先祖に与えて、その実りと、その良い物を食べるようにされたこの地で、…それで私たちは非常な苦しみの中におります。」
- ・ これらすべてのことのゆえに、私たちは堅い盟約を結び、それを書きしるした。そして、私たちのつかさたち、レビ人たち、祭司たちはそれに印を押した。

(ネヘミヤ記 9:5-13、15-17、20-21、26-29、31-33、36-38)

この長い祈りの大部分を占めるのは、イスラエルの初期の歴史の反芻と、神がどのようなお方であり、ご自分の民をどのように取り扱ってこられたかの確認です。神が適切な形で認識されるとき、すなわち、その憐れみ、必要の満たし、懲らしめ、祝福が追憶されるとき、祈りは新しい次元へと飛び立ちます。この祈りにおいては、神は、唯一の主として(6節)、全てのものの創造者として(6節)、全てのものを守り保持する方として(6節)、天の軍勢からの礼拝をお受けになる方として(6節)、アブラムをお選びになった方として(7節)、人の名前を変えてくださる方として(7節)、偉大で力強い、おそれ多い神として(32節)、契約を守ってくださる方として(32節)、そして憐れみの神として(32節)認識されています。

イスラエルの不従順と反抗、神の忍耐と憐れみ、懲らしめをあらためて延々と語ると、この祈りは、願い(「すべての困難を、どうか今、小さい事とみなさないでください」と告白(「あなたは正しかったのです。…私たちは悪を行ったのです」)、契約(「これらすべてのことのゆえに、私たちは堅い盟約を結び」)をもって締めくくられています。神の民がいつの時代もたどることのできる、素晴らしい型です。罪と失敗のただ中にある時でさえ、適切な行動というものがあるのです。神に立ち返る道はあるのです。

ネヘミヤはまさに祈りの人でした。その模範は、正当に構成されたリーダー集団であるこのレビ人たちにも反映されていました。敬度なリーダーシップは、いかなる国や政府にとっても、きわめて奥の深い祝福であるのです。

「私を覚えていてください」

ネヘミヤは一定の時点でアルタシャスタ王のもとに戻りました。しかし、王の宮廷で仕えていると、エルサレムにいる神の民が再び、礼拝のあり方に無頓着になってしまいました。戻ってみると(ネヘミヤ 13:6-7)、彼は「(祭司の)エルヤシブが…行った悪」、すなわち、神殿の備品を保管しておくべき部屋にトビヤの家財を置かせることで、神殿を汚すという悪を行なっていることに気づきます(トビヤは町の再建に際してユダヤ人に反対した人物で(ネヘミヤ 4:3、6:19 を参照)、アモン人でもありました(13:1-2 を参照))。ネヘミヤはまた、神の家がないがしろにされていることにも気づきます(ネヘミヤ 13:10-11 を参照)。彼は状況を元通りにし、その後、自分の忠実さを覚えていてくださいと神に祈ります。

私の神。どうか、このことのために私を覚えていてください。私の神の宮と、その務めのためにしたい  
ろいろな私の愛のわざを、ぬぐい去らないでください。(ネヘミヤ記 13:14)

ネヘミヤはさらに、人々が安息日に働き、商売をしているのを見ます。彼は彼らを叱責し、あなたたちは自らの身に破滅を招こうとしている、と警告します。そして、先祖たちが同じことをした時のことを思い起こさせ、「安息日をきよく保つ」よう命じるのです(ネヘミヤ 13:15-20 を参照)。彼は、神を愛し、そのみことばを守りたいと切に願う心から祈りました。

私の神。どうか、このことにおいてもまた、私を覚えていてください。そして、あなたの大いなるいつくしみによって私をあわれんでください。(ネヘミヤ記 13:22)

最後に、ネヘミヤは、ユダの男たちが何人か、異教徒の女と結婚しているのを見ます。この母親たちの影響はあまりに大きく、子どもたちはユダの言葉が話せないほどでした。ソロモンの妻たちが彼を墮落させたことを思い出したネヘミヤは、男たちを叱責し、彼らの上にのろいを招きます。彼らがしていたことの深刻さを強調すべく、彼は何人かを殴り、毛をむしりまでし、子どもたちを信仰共同体の外では結婚させないという誓約もさせるのです(ネヘミヤ 13:23-28)。彼が三回目に「どうか、…私を覚えていてください」(13:14,22,31)という祈りをするのはこの時です。

私の神。どうか私を覚えて、いつくしんでください。(13:31)

ネヘミヤの使命は、エルサレムの町を修復することだけでなく、神に対する人々の関係を修復することでもありました。彼の信仰上のリーダーシップのもと、イスラエル史上最も優れた信仰の刷新の一つが見られるのです。神の関心を求めるネヘミヤの願いは、プライドや自慢から出たものではなく、自らの従順と勤勉な働きに目を留めてくださる神の誠実さに対して、謙遜に訴えかけるものでした。

すなわち、自分のことを覚えていてくださいと願ったネヘミヤは、単に自分のことを心に留めておいて欲しい

と願っただけではありません。神は決して物事を忘れることのないお方です。しかし、神が覚えておられると聖書が語る時、それは常に、神が状況に介入し、ご自分の約束に沿って何かをしてくださるという意味を表します。ネヘミヤは、神は引き続き積極的な形で自分に恩寵を示してくださるのだという、自らの信仰を表現していたのです。彼はまた、最後に「我が神」と呼ばれることにより、主との個人的な関係も表現しました。私たちとしては、**クリスチャンはみな、心配や不安の一切を神に委ねなさい**というペテロの教えを思い出します。「神があなたがたのことを心配してくださるからです」(I ペテロ 5:7)。**神が個人的な関係を持ってくださるお方であり、私たちのことを心から心配して下さっているということを知るとき、そこから流れてくる慰めは、なんと素晴らしいものなのでしょうか。**

## 質問

- 1 ネヘミヤ9章の祈りにどんな特徴がありますか？  
あなたには、他の人と一っしょに祈ることでもよかったという経験がありますか？
- 2 ネヘミヤ9章の祈りでは、イスラエルの歴史を振り返り、神の恵みを認め、先祖たちが神に従わなかったことを認めています。あなたはこれまでの自分を振り返り、どんな神の恵みを認め、自分の罪を認めることができますか？  
あなたの教会の歴史を振り返ると、どんな神の恵みがありましたか？
- 3 ネヘミヤ9章の祈りには、神に立ち返るための素晴らしい型がありますが、それは何ですか？  
もし神に従わない時があったら、あなたはどのようにそこから神に立ち返ることができると思いますか？
- 4 ネヘミヤはレビ人たちの祈りの模範になっていました。祈りの模範を持つことは大切です。  
あなたにも祈りの模範となる人がいますか。その人からどういう点で影響を受けましたか。
- 5 ネヘミヤが「私を覚えていてください」と祈ったのはどんなときですか？なぜネヘミヤはこのように祈ったと思いますか？  
あなたにも同じように祈る必要がありますか？
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？  どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

父なる神さま。困難に陥る時、あなたが事態に介入し約束を果たして下さることを期待します。愛する方々とともに祈り続け、今まであなたがどれほど恵み深い方だったかを思い起こし、その告白と感謝が教会全体に良い影響を与えるまでになりますように。

## 学びのための問い

1. ソロモンの祈りは、私たちの仕える神について、どんな方だと教えてくれているのでしょうか。
2. エリヤの祈りのほとんどに見られる主要な特徴としては、どんなものがあったのでしょうか。
3. 私たちが神のみこころに反した祈りをしてしまいがちになるのは、特にどんな時でしょうか。
4. ヨシヤパテの祈りは、どんなところが通常のものでなかったのでしょうか。
5. II列王記 19 章 17 節に見られるヒゼキヤの祈りを「否定的な告白」と呼ぶ人があるとすれば、それはなぜでしょうか。ヒゼキヤがこのように祈るのが正しかったのはなぜでしょうか。
6. エズラの祈り(エズラ 9:6 以下)のような祈りが適切なのはどんな時でしょうか。
7. 8人のレビ人たちは神に立ち返る道を見出すことに関心を抱いていましたが、それをどのように示しているのでしょうか。
8. ネヘミヤの「私を覚えていてください」という祈りは、何に心をかき立てられてのものだったのでしょうか。